

八筑25会第38号
平成26年3月27日

会員各位

(一社)八女筑後薬剤師会
会長 金子 吉一
研修担当副会長 原田 秀徳

八女筑後薬剤師会「定期研修会」のご案内

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは下記要領にて、定期研修会を開催させていただくこととなりました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

【日 時】：平成26年 4月8日(火) 19:00～

【場 所】：筑後商工会議所
筑後市大字和泉 118-1
Tel 0942-52-3121

《情報提供》 「エヌケーエスワンについて」

日本化薬株式会社

◆【講演】

『がん患者の服薬サポートと緩和ケアの実際』

明治薬科大学 臨床薬理学教室 教授
日本緩和医療薬学会 代表理事
加賀谷 肇 先生

〈コメント〉

がん化学療法は入院から外来治療へと移行し、近年経口抗がん薬も増えてきた。がんと診断された時からの緩和医療の実施、さらには在宅医療の推進とも相まって院外処方せんを応需する保険薬局における服薬指導の充実が求められている。

医療連携の観点からは、退院時カンファレンスに薬局薬剤師も同席することが理想であろう。実際には現段階では難しい側面があり、薬・薬連携の観点からは、病院薬剤師が入院中サマリーを作成し、患者を介して保険薬局薬剤師に渡りようなシステム構築が必要と考えている。

スキルアップには、スクール形式の勉強会に加えて、ロールプレイなどを取り入れた参加型研修会形式が有用である。患者役、薬剤師役及び評価者の3つに分かれ、これをローテーションさせてそれぞれの立場から見えてくるものが変わるのを実感することが重要である。

今回共催している日本化薬をはじめ製薬企業にも薬・薬連携の担い手として期待している。

今後の地域での薬・薬連携の活性化を願い、協議するテーマの候補として、医療用麻薬をとりまく今日的課題をはじめ、知識・技能・態度などについても紹介したい。

*当講演は日本薬剤師会・プロフェッショナルスタンダード(PS)における

【1. ヒューマニズム(倫理)】1-3-7, 8, 11 及び【2. 医薬品の適正使用】2-2-98 に該当します。

*研修カードをお持ちの方は忘れずにご持参ください。

共催：(一社)八女筑後薬剤師会
日本化薬株式会社